

〈愛でた後は食す！〉

菊の花が咲き出した。赤と黄色の小菊は500円玉くらいの大きさで花のないこの時期、鮮やかさが際立つ。虫がいなくなるのにこんな晩秋に花を咲かせて受粉できるのだろうか心配になる。コスモスはとっくに咲き出してすでにタネをつけている。来年の準備は怠りない。なのに今頃ノンビリ咲き出す菊の花、人に愛でもらうのはいいけど、本来の役割を忘れないで欲しい。

薄いピンクの方は食用菊。2年前知り合いから苗をいただいて畑の隅っこで育てている。直径7~8cmほどで花弁が長い。写真を撮っているとピンクのカーテンに包まれるように、テントウムシが日向ぼっこをしていた。♪♪こんな小春日和の穏やかな日はあなたのやさしさが沁みてくる~♪♪なんて気持ちよく歌ってい



たのかもしれない。虫がいなかったら、まだまだいたので一安心。ま、こんな時期になってもちゃんと受粉できることぐらい心配しなくても分かっているのだろう。失礼しました。

花を十分愛でた後は、食べることに。食用菊なので食べられることでその本領を発揮する。摘んできた花はしっかり洗って、ガクを取る。サッと茹でて甘酢で食す。シャキシャキした歯ごたえがたまらない。以前は花を食べることに少し抵抗があったが、トロロアオイやナスタチュームを食べているうちに慣れた。ブロッコリーやカリフラワー、アスパラガスなどは蕾を食べているわけだから、なんの問題もない。菊は見てよし食べてよし嗅いで良しの死角なし。